

1808 焼岳火山の噴火準備過程の研究

担当者 大見士朗 (ohmi@rcep.dpri.kyoto-u.ac.jp)

- ・実施機関（代表機関）名

京都大学防災研究所

- ・研究目的

飛騨山脈の焼岳火山は、東北地方太平洋沖地震の直後に地震活動が非常に活発化するなど、今後の動向を注視する必要がある火山のひとつであると考えられることから、同火山において複数項目の観測を行い、その火山噴火準備過程の理解に資する。本計画では、現状では手薄な地盤変動の観測研究を中心に、すでに実施中の微小地震観測や、他機関によって実施されている赤外熱映像観測等のデータの集約と解析を行い、将来の火山防災に資するための基礎データとすることを目的とする。